

平成26年度事業報告書

NPO法人たつの・赤トンボを増やそう会

1, 活動の成果

当会は、三木露風が詠んだ童謡「赤とんぼ」の情景復活をめざしている。その為、昆虫の赤トンボ、すなわちアキアカネを増やすべく、平成20年より活動を開始し、アキアカネの人工飼育をはじめ、様々な活動を行なってきた。(平成26年4月にNPO法人化)

平成26年度においては、トンボ池の給水システムが充実し、ここを拠点としてアキアカネの人工飼育の実験を推進することが出来た。

また、実際の田んぼでアキアカネが育つ農法を開発するため、西播磨県民局のご支援を得て、揖西町中垣内の農家を中心とした“たつの赤とんぼ米研究会”を発足させた。そしてまた、トンボ池の仮設道路や案内看板設置により、トンボ池を活用して子供たちと昆虫観察会や植物観察会等の行事を行なうことが出来た。これによって、多くの子供たちや保護者の方々にトンボ池の存在を知ってもらうとともに、この場所の豊富な昆虫や植物を観察して親しんでもらう機会を作ることが出来た。

さらに、年度末には、龍野歴史文化資料館のご支援で、当会の活動経緯等を掲載した小冊子「たつのと赤トンボ」と副本のDVDを発行することが出来た。このことは、次のステップに進む上で大きな区切りとなり、大変意義深いものとなった。

2, 特定非営利活動に係る事業

1) アキアカネ繁殖のための生態調査・飼育事業

① アキアカネの人工飼育

平成23年に初めて羽化に成功して以来 徐々に羽化数を増加させてきた。そして、平成26年度は田んぼでの羽化が伸び悩んだが、トロ箱での羽化が増え、合計99匹の羽化に成功した。

また、前年に引き続き農薬を変える実験にも取り組んだが、残念ながらヤゴの飼育容器内の温度上昇等により羽化率は前年より下回った。

② 山上調査

8月の氷ノ山の山上調査では、雨天でもアキアカネが多数集結していることが証明出来、参加した子供たちや保護者の方々に大変感動してもらえた。

③ 平地調査&情報収集

従来、11月初旬に宍粟市の下牧谷でアキアカネの調査を行なっていたが、そこではほとんど見つからなくなり、中野まで行かざるを得なくなった。また、例年通りアキアカネの情報提供を市民に呼び掛けて調査した結果、市内での発見数は33匹で、依然として少ない状態が続いている。

2) アキアカネを育む農法の開発とブランド化の事業

① 人工飼育場（トンボ池）での農作業と羽化実験

トンボ池の赤トンボ飼育田では、その一部で実際に田植えを行ない、龍野高校の自然科学部の生徒による実験で5匹が羽化した。田んぼではないが、赤トンボハウスでも我々が推奨する農薬（デジタルコラトップアクタラ）で14匹羽化させることが出来、全体でも19匹となり、他の農薬より優れていた。

② 飼育の為の農法開発

“たつの赤とんぼ米研究会”では合計約1.7ヘクタールの田んぼで、アキアカネに優しい農薬（殺虫剤）を使用し、化学肥料30%減に取組み、兵庫県の推奨ブランドの基準である残留農薬の検査も合格した。

③ この農法による米のブランド化

上記②によってブランド化した米を“たつの赤とんぼ米”として試験的に販売する予定だったが、従来からの販売先に販売せざるを得ず、試験販売する量が確保できなかった。これは平成27年度の課題として取り組みたい。

3) アキアカネの飼育施設等を使った学習・観光事業

① トンボ池での学習

トンボ池は約10,000㎡あり、過去に68種類の昆虫や小動物が確認出来ている。平成26年度は初めてここを使って子供たちの為の学習を目的とした次のような行事を行なうことが出来た。

a, アキアカネ&昆虫観察会



b, 植物観察会



c, 針金トンボ作り&竹とんぼ飛ばし



② トンボ池での観光

トンボ池を一般の市民や観光客に見てもらうことについては現在準備中である。(平成27年の7月に全国トンボ市民サミットをたつの市で開催するが、その際には全国から来られる方々に見て頂くようにしたい。)

4) アキアカネ飼育田等での子供たちの体験学習事業

① プールからのヤゴ救出

この事業は毎年6月に市内の3小学校(龍野小、小宅小、揖西東小)と連携して行っており、平成26年度も予定通り実施した。

② 田植え～餅つき体験学習

5月には中垣内の田んぼで“たつの赤とんぼ米”の田植えを子供たちと一緒に行ない、その後も、その田んぼで稲刈りを実施し、脱穀は雨で中止となったが、11月には近くのキャンプ場で収穫祭(ぼた餅づくり)を行なうことが出来た。これらの行事で、アキアカネの生育と稲作が密接に関連していることを参加者の皆さんに学んで頂けたと思われる。

③ 平地調査

子供たちと宍粟の中野へ11月初旬に調査に行く予定をしていたが雨のため中止した。それとは別に、龍野小、揖西東小の各校区内のフィールド調査を授業として行なうことが出来た。

2, 事業実施体制

1) 会議に関する事項

① 通常総会

開催日 平成27年5月24日(日) 14:00~15:30

開催場所 龍野コルク工業株式会社社会議室

出席者 12名(うち表決委任者1名) ※正会員総数15名

② 理事会(開催場所;龍野コルク工業株式会社社会議室、時間;18:00~20:00)

4月23日(水) “たつの赤とんぼ米研究会”発足について、龍野歴史文化資料館の事業について、今後のアキアカネ飼育について

5月12日(火) 子供たちと田植えについて、トンボ池の賃貸借契約書について、当会が“出る杭大賞”を受賞したことについて、来年開催の全国トンボ市民サミットについて

6月26日(木) ヤゴの飼育カゴのミジンコ供給について、赤とんぼ米巡回研修について、アキアカネ&昆虫観察会と氷ノ山山上調査について

7月30日(水) ヤゴの羽化状況(トンボ池、田んぼ、龍野高校)について、“たつの赤とんぼ米”の商標登録について、氷ノ山山上調査の

実施方法等について

- 8月19日（水）ヤゴの羽化状況（合計95匹）について、今後のスケジュール（赤トンボの講演会、城山山上調査、稲刈り、脱穀）について
- 9月26日（金）今年のヤゴの羽化実績まとめ（99匹）、来年のトンボサミットについて、米の推奨ブランドの認定について、今後のトンボ池の整備について、来年のヤゴの飼育の容器等について
- 10月29日（水）赤とんぼ米（残留農薬試験の結果、すべてクリア）について、当面のスケジュール（下牧谷平地調査、揖西東・龍野小の赤トンボの授業、収穫祭）について、来年の予算について
- 11月26日（水）今年のアキアカネ捕獲・目撃情報について、来年の予算について、来年龍野高校で試験してもらおう農薬の種類について
- 12月15日（月）来年のトンボ池での羽化実験について、「赤とんぼの里だより」の原稿案・赤トンボの冊子とDVDの内容概要・新井裕氏の講演のテーマと概要等について
- 1月19日（月）平成26年度活動報告&講演会について、全国トンボ市民サミットのスケジュール概要と費用等について、「たつのと赤トンボ」の冊子とDVDの進捗状況について、「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」に選定されたことについて
- 2月19日（月）今年度活動報告&講演会（当日の分担等）について、全国トンボ市民サミット協賛金募集等について、「赤とんぼ米研究会」の来年度の計画について、出る杭大会出展の応募申請について、県環境保全創造活動支援助成金申請について
- 3月16日（月）新井先生のご意見について、全国トンボ市民サミットの進捗状況について、今年度の収支見込みについて（含む、前田の立替金未精算等）、来年度の計画と助成金の関係について、出る杭大会出展準備について

2) 事務局体制

事務局長：前田清悟

事務局スタッフ：鎌尾正、森川富夫、片岡孝次、青木勝喜、出羽一雄、坂上忠正、塩谷哲男、黒田勝司、武田嘉文

3) 会員

正会員15名

4) 連携グループ

たつと赤とんぼ米研究会

以上